



連絡とれるくん  
スケジュール連携と  
資料検索のための0365設定手順

---

株式会社Phone Appli  
NTT Communications株式会社

更新日	頁	更新内容
2018/11/23	全体	新規作成
2018/12/28	全体	補足情報を追加
2019/7/26	全体	設定手順内容の更新

## ■ 目次

1. はじめに
2. Azure ADにアプリを追加する
3. 追加したアプリに設定をする
4. クライアントシークレットを発行する
5. アクセス許可に対する同意の付与について
6. 連絡とれるくんへ登録する

## ■ 概要

本資料は「連絡とれるくん」の機能である「スケジュール連携」と、「資料検索」を利用するためのOffice 365の設定手順となります。

## ■ 注意事項（2019/5/10時点）

- ・ Office 365はクラウドサービスであるため、実際の画面UIや設定手順とは差異がある可能性があります。
- ・ Office 365のUI変更やAPIの変更に伴って、本設定手順も変更される可能性があります。
- ・ 本手順にて取得する「クライアントシークレット」には有効期限があり、失効すると、「連絡とれるくん」の「スケジュール連携」と「資料検索」が利用できなくなります。  
失効前に「クライアントシークレット」を再発行し、「連絡とれるくん」管理画面より再登録してください。

## ■ 設定作業のための条件

- ・ Office 365アカウント  
Office 365の管理者アカウントにて作業を実施してください。

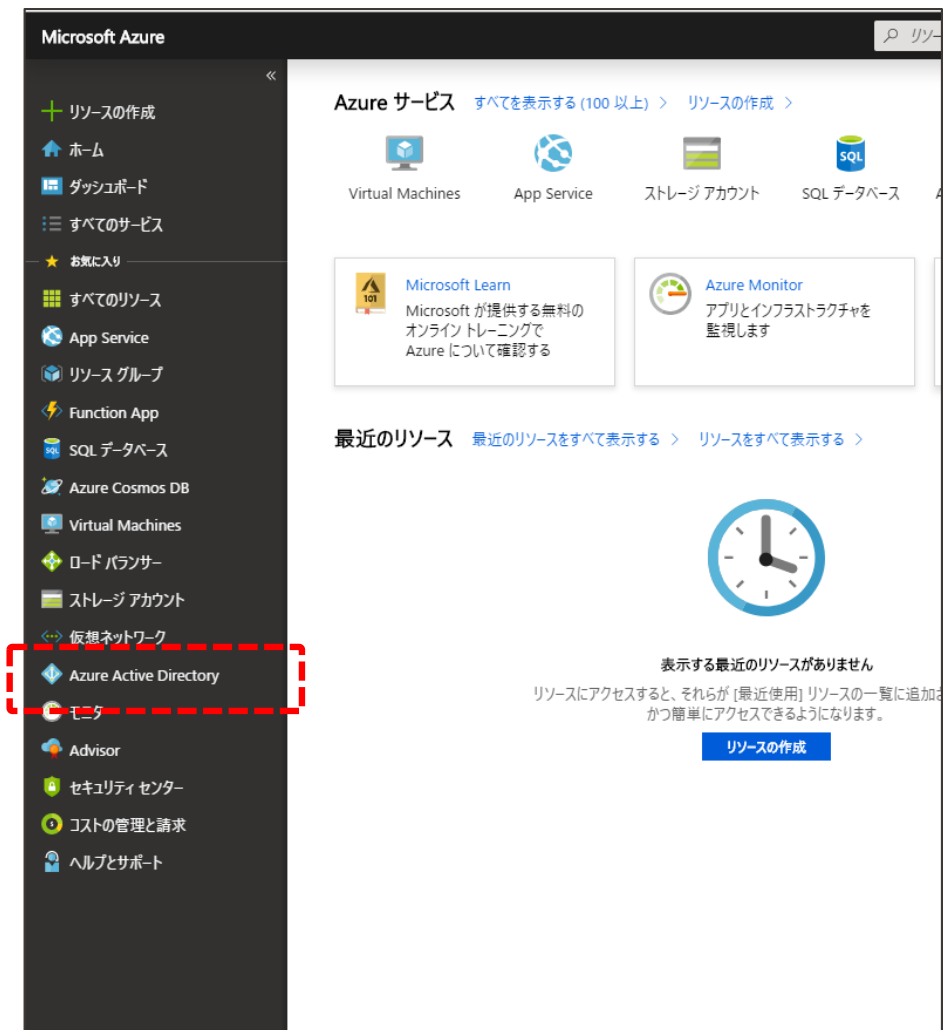
【参考】

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/active-directory/develop/active-directory-howto-tenant#a-nameuse-an-existing-office-365-subscription>既存の-office-365-サブスクリプションを使用する

- ・ 設定箇所  
本手順はARM上 (<https://portal.azure.com/>) での設定方法となります。  
クラシックポータル上 (<https://manage.windowsazure.com/>) で設定をする場合は、Azureサブスクリプションを割り当てる必要があります。  
※割り当てるサブスクリプションは、テナント内のものであれば問題ありません。

## 2. Azure ADにアプリを追加する 1/3

- ARM (<https://portal.azure.com/>) にOffice 365の管理者アカウントでログインし、リソース「Azure Active Directory」を選択します。



## 2. Azure ADにアプリを追加する 2/3

- 「App registrations」 > 「新規登録」を選択します。

The screenshot shows the Microsoft Azure portal interface for '株式会社 Phone Appli - App registrations'. The left sidebar contains a navigation menu with 'App registrations' highlighted. The top navigation bar includes a search box and a '+ 新規登録' button. The main content area displays a list of applications with columns for '表示名' and application details.

表示名	アプリケーション ID
AD	adfsSfBtest2
SK	SkypeDemoFukagawaApp
ああ	あああ
SK	Skype4B Presence-hashimoto

## 2. Azure ADにアプリを追加する 3/3

- 以下のように設定し、「登録」をクリックします。

### 名前

→任意のアプリケーション名を入力します。

### サポートされているアカウントの種類

→「この組織のディレクトリ内のアカウントのみ」を選択します

### アプリケーションの種類

→「Web」を選択します。

### リダイレクトURL

→任意の値を入力します。

※当該値は利用しませんが、必須項目のため入力します。

### アプリケーションの登録

\* 名前  
このアプリケーションのユーザー向け表示名 (後ほど変更できます)。  
torerukun-o365-apps ✓

サポートされているアカウントの種類  
このアプリケーションを使用したりこの API にアクセスしたりできるのはだれですか?  
 この組織のディレクトリ内のアカウントのみ (株式会社 Phone Appli)  
 任意の組織のディレクトリ内のアカウント  
 任意の組織のディレクトリ内のアカウントと、個人用の Microsoft アカウント (Skype、Xbox、Outlook.com など)  
[選択に関する詳細...](#)

リダイレクト URI (省略可能)  
ユーザー認証が成功すると、この URI に認証応答を返します。この時点での指定は省略可能で、後ほど変更できますが、ほとんどの認証シナリオで値が必要となります。  
Web ▼ http://localhost ✓

[続行すると、Microsoft プラットフォーム ポリシーに同意したことになります](#) ☑

**登録**

### 3. 追加したアプリに設定をする 1/4

- 「作成したアプリ」が開くのでアプリケーション（クライアント）IDをコピーします。



- 「APIのアクセス許可」を選択し、「Microsoft Graph(1)」をクリックします。





# 3. 追加したアプリに設定をする 2/4

- 以下のように選択し、「API アクセスの追加」欄の「完了」をクリックします。

アプリケーションに必要なアクセス許可の種類

→ 「委任されたアクセス許可」を選択します。

アクセス許可を選択する

→ 「アクセス許可」配下にある以下を選択します。

- Calendars → Calendars.Read (Read user calendars)
- Calendars → Calendars.ReadWrite (Have full access to user calendars)
- Calendars → Calendars.ReadWrite.Shared (Read and write user and shared calendars)
- Sites → Sites.Read.All (Read items in all site collections)
- User → User.Read (Sign in and read user profile)

API アクセス許可の要求

Microsoft Graph  
<https://graph.microsoft.com/> [ドキュメント](#)

アプリケーションに必要なアクセス許可の種類

<b>委任されたアクセス許可</b> アプリケーションは、サインインしたユーザーとして API にアクセスする必要があります。	<b>アプリケーションの許可</b> アプリケーションは、サインインしたユーザーなしで、バックグラウンドサービスまたはデーモンとして実行されます。
--	--

API アクセス許可の要求

▼ Calendars (3)

- Calendars.Read  
Read user calendars ⓘ
- Calendars.Read.Shared  
Read user and shared calendars ⓘ
- Calendars.ReadWrite  
Have full access to user calendars ⓘ
- Calendars.ReadWrite.Shared  
Read and write user and shared calendars ⓘ

API アクセス許可の要求

- Sites.Read.All  
Read items in all site collections ⓘ
- Sites.ReadWrite.All  
Edit or delete items in all site collections ⓘ
- ▶ Subscription
- ▶ Tasks
- ▶ ThreatIndicators
- ▶ TrustFrameworkKeySet
- ▶ UserActivity
- ▶ UserTimelineActivity
- ▼ User (1)
  - User.Export.All  
Export user's data ⓘ
  - User.Invite.All  
Invite guest users to the organization ⓘ
  - User.Read  
Sign in and read user profile ⓘ
  - User.Read.All  
Read all users' full profiles ⓘ
  - User.ReadBasic.All  
Read all users' basic profiles ⓘ
  - User.ReadWrite  
Read and write access to user profile ⓘ
  - User.ReadWrite.All  
Read and write all users' full profiles ⓘ

アクセス許可の更新 破棄

※画像は省略して表示しています。

### 3. 追加したアプリに設定をする 3/4

- ・設定した項目を確認します。  
「委任されたアクセス許可」配下の、「User.Read (Sign in and read user profile)」も含まれていることを確認してください

#### API のアクセス許可

アプリケーションが API を使用する承認を得るには、アクセス許可を要求します。これらのアクセス許可は、同意を得るプロセスの間に表示され、ユーザーがアクセスを許可/拒否する機会が与えられます。

+ アクセス許可の追加

API / アクセス許可の名前	種類	説明	管理者の同意が必要
▼ Microsoft Graph (5)			
Calendars.Read	委任済み	Read user calendars	-
Calendars.ReadWrite	委任済み	Have full access to user calendars	-
Calendars.ReadWrite.Shared	委任済み	Read and write user and shared calendars	-
Sites.Read.All	委任済み	Read items in all site collections	-
User.Read	委任済み	Sign in and read user profile	- <input checked="" type="checkbox"/> 株式会社 P h o n e A ...

これらは、このアプリケーションが静的に要求するアクセス許可です。コードを使用して、ユーザーの同意が可能なアクセス許可を動的に要求することもできます。 [アクセス許可を要求するためのベスト プラクティスを参照する](#)

### 3. 追加したアプリに設定をする 4/4

- ・「認証」をクリックし、「リダイレクト URI」入力画面を表示します。
- ・「リダイレクトURI」欄に以下を入力し、保存をクリックします。  
`https://renraku1.torerukun.com/o365/accounts/login`  
※青字の部分はご利用の連絡とれるくんのURLに読み替えてください。

torerukun-o365-apps - 認証

概要  
クイックスタート  
管理  
ブランド  
認証  
証明書とシークレット  
API のアクセス許可  
API の公開  
所有者

保存 破棄 新しいエクスペリエンスを試す Got feedback?


#### リダイレクト URI

ユーザー認証に成功した後に認証応答 (トークン) を返すときに宛先として受け入れる URI。応答 URL とも呼ばれます。  
[Web、モバイル、デスクトップ クライアントのサポートの追加に関する詳細](#)

種類	リダイレクト URI
Web	https://renraku1.torerukun.com/o365/accounts/login
Web	https://localhost
Web	例: https://myapp.com/auth

# 4. クライアントシークレットを発行する

- 「証明書とシークレット」を選択し、「クライアントシークレット」を選択します。  
「クライアントシークレットの追加」で「説明」を入力し、「有効期間」から期間を選択します。  
※期間は任意で選択してください。
- 「追加」をクリックすることで、クライアントシークレットが発行されるため取得してください。  
※このページを離れると取得不可となります。



toerukun-o365-apps - 証明書とシークレット

概要  
クイック スタート  
管理  
ブランド  
認証  
証明書とシークレット  
API のアクセス許可  
API の公開  
所有者  
マニフェスト  
サポート + トラブルシューティング  
トラブルシューティング

クライアント シークレットの追加

説明  
[ ]

有効期限  
 1 年  
 2 年  
 なし

追加 キャンセル

クライアント シークレット

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するた

+ 新しいクライアント シークレット

クライアント シークレット

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーション パスワードと呼ばれることもあります。

+ 新しいクライアント シークレット

説明	有効期限	値
キー	2020/5/9	W4JJ+JD=S8_ [ ]

**【ポイント】**  
このクライアントシークレットの値が、連絡とれるくんの「Azure AD連携」管理画面の、「キー」に入力する値となります。

# 5. アクセス許可に対する同意の付与について

- 以下の手順を実行します。
  - 「APIのアクセス許可」→「～～に管理者の同意を与えます」をクリックしてください。
- ※Azure AD連携のためのアプリに対しての「アクセス許可に対する同意の付与」は、ディレクトリロールが「全体管理者」ではないユーザで実施しようとするとエラーになります。

torerukun-o365-apps - API のアクセス許可

株式会社PhoneAppliのすべてのアカウントについて、要求されたアクセス許可に対する同意を付与しますか? この操作により、このアプリケーションが既に持っている既存の管理者の同意レコードが内容に一致するよう更新されます。

はい いいえ

API / アクセス許可の名前	種類	説明	管理者の同意が必要
Microsoft Graph (5)			
Calendars.Read	委任済み	Read user calendars	-
Calendars.ReadWrite	委任済み	Have full access to user calendars	-
Calendars.ReadWrite.Shared	委任済み	Read and write user and shared calendars	-
Sites.Read.All	委任済み	Read items in all site collections	-
User.Read	委任済み	Sign in and read user profile	- <input checked="" type="checkbox"/> 株式会社PhoneA...

これらは、このアプリケーションが静的に要求するアクセス許可です。コードを使用して、ユーザーの同意が可能なアクセス許可を動的に要求することもできます。 [アクセス許可を要求するためのベスト プラクティスを参照する](#)

同意する

管理者は、このディレクトリのすべてのユーザーに代わり同意を与えることができます。すべてのユーザーに管理者の同意を与えると、エンドユーザーが対象アプリケーションを使用するときに、同意画面が表示されなくなります。

株式会社PhoneAppliに管理者の同意を与えます

## 6. 連絡とれるくんへ登録する

- 以下の手順を実行します。
  - 「管理」→「Office 365設定」をクリックしてください。
  - 「設定画面」にて以下を登録し、「更新」をクリックし、「更新しました。」と表示されることを確認してください。
    - ドメイン (Office365のドメインを入力)
    - アプリケーションID (Azure ADで取得したアプリケーション (クライアント) IDを入力してください。)
    - キー (Azure ADで取得したクライアントシークレットの値を入力してください。)

※「アプリケーションID」と「キー」は読み替えて登録してください。

管理 - 企業情報 - Office 365設定

企業情報 部置 ユーザー 共有電話帳 お知らせ ログ出力 AD連携 Sansan連携 Cisco CMX EXBeacon Azure AD連携

社名/ロゴ 表示カラム ユーザー設定 スマートフォン スマートフォントップ 共有電話帳管理 Office 365設定 Skypeプレゼンス取得設定 チャット連携設定 エクスポート設定

ドメイン phoneappli.net

アプリケーションID a90e...

キー .....

更新

メッセージ

更新しました。

閉じる

※画像は省略して表示しています。